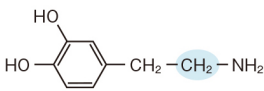
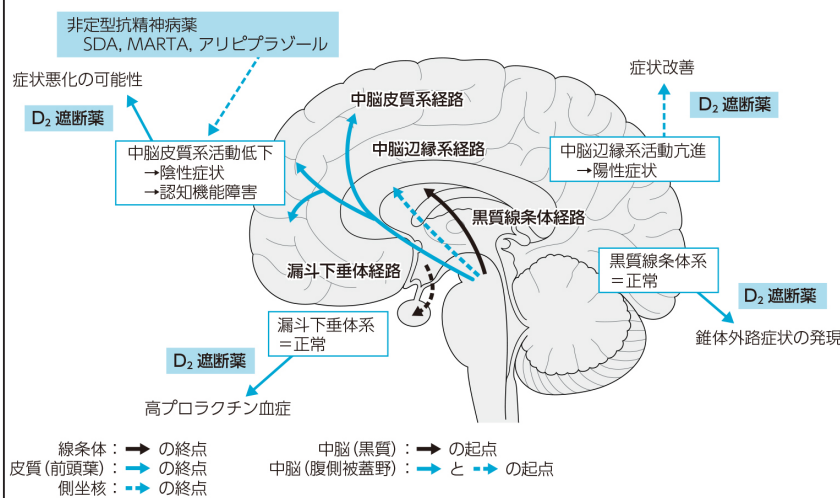


正 誤 表

「新しい疾患薬理学」(第1版第1刷)

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
31	表 1-4 ホスホジエステラーゼ5の適応疾患	勃起不全	肺高血圧症, 勃起不全
36	上から4行目	intradermal (i. d.)	transdermal
48	図 1-45 ドパミン構造式	(下図に差し替え)  ドパミン	
55	上から3行目	ミドドリンはCOMTで分解されない	どちらもCOMTで分解されず, ミドドリンはMAOでも分解されない
56	上から10行目	可能である.	可能である. なお, いずれもMAOでは分解されない.
	下から2行目	COMTで分解されない	MAO, COMTで分解されない
58	下から8~6行目	さらに, ノルアドレナリントランスポーターにより交感神経終末に取り込まれ, 小胞でノルアドレナリンと置き変わりノルアドレナリンを遊離させる.	直接的なβ受容体刺激作用に加え, ノルアドレナリントランスポーターにより交感神経終末に取り込まれ, 小胞でノルアドレナリンと置き変わりノルアドレナリンを遊離させることで, 間接的なα, β受容体刺激作用を示す. 間接作用については
	下から5行目	中枢興奮作用があり	タキフィラキシーは直接作用については起きないため, α作用にのみ出現する. 中枢興奮作用があり
91	図 2A-2	(下図に差し替え)  図 2A-2 ドパミン D ₂ 受容体遮断薬の抗精神病作用・副作用と脳内ドパミン神経系	
94	図 2A-4	α ₂	α ₁
130	表 2A-4 2行目	トフィゾラム	トフィソパム

頁	行, 箇所	誤	正
140- 141	下から 7 行目～ 上から 7 行目	(以下に差し替え) ●イブジラスト 薬理作用 脳血流改善作用, 抗血小板作用を有し, 慢性脳梗塞患者の広義のめまい, ふらつき, 立ちくらみを改善する。また, 気管支喘息における気道過敏性の改善, 気道炎症および気道攣縮の抑制効果を有する。 作用機序 ホスホジエステラーゼ阻害作用, ロイコトリエン・PAF に対する拮抗作用, プロスタサイクリン (PGI₂) の作用増強作用を有する。 副作用 血小板減少, 肝機能障害, 黄疸, 発疹, めまい, 頭痛, 食欲不振, 嘔気, 嘔吐, 腹痛, 消化不良が現れることがある。 ●ニセルゴリン 薬理作用 脳血流改善作用, 脳エネルギー代謝改善作用, 脳神経機能改善作用などを有し, 脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害による意欲低下の改善に用いられる。 作用機序 脳血管を拡張し脳血流を増加させるとともに, 血小板凝集抑制作用, 赤血球変形能改善作用および PAF 産生能抑制作用等により血液流動性を改善し脳循環を改善する。脳内ドパミン, アセチルコリン神経機能を促進し, ATP など脳エネルギー関連物質の代謝を改善する。 副作用 食欲不振, 下痢, 便秘, 悪心, 腹痛, 口渇, めまい, 立ちくらみ, 眠気, 倦怠感, 発疹などが現れることがある。	
145	図 2A-19	セレクターゼ	セクレターゼ
178	フェニトイン	※適応症: <u>部分発作</u> , 強直間代発作	※適応症: 強直間代発作, <u>焦点 (部分) 発作</u> , 自律神経発作, 精神運動発作
	ホスフェニトインナトリウム水和物	※適応症: てんかん重積状態 (全般発作には無効, 増悪するので使用しない)	※適応症: てんかん重積状態
	エトイン	※適応症: 強直間代発作 (全般発作には無効, 増悪するので使用しない)	※適応症: 強直間代発作
	フェノバルビタール プリミドン	※適応症: <u>部分発作</u> , 強直間代発作 (全般発作には無効, 増悪するので使用しない)	※適応症: 強直間代発作, <u>焦点 (部分) 発作</u> , 自律神経発作, 精神運動発作
199	上から 5 行目	血管収縮を抑制する	血管拡張を抑制する
	表 ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩の作用機序	血管収縮を抑制する	血管拡張を抑制する
261	図 4A-3 (a) 右図・3 相	この再分極は K ⁺ の流入で生じる	この再分極は K ⁺ の流出で生じる
346	上から 12 行目	アドレナリン β_3 受容体	アドレナリン β_2 および β_3 受容体
533	下から 5～4 行目	DNA 鎖の架橋形成を阻害することで細胞毒性を示す。	DNA 鎖の架橋形成を介して DNA の複製・転写を阻害し, 細胞増殖を抑制する。

(株)南江堂 2022.8)